

大和市協働ルール（資金部会） 第1回ワークショップ

テーマ 「社会資源を考える」

2004年11月28日開催
発行:玉川まちづくりハウス・大和市市民活動課

はじめに

2004年11月28日に大和市協働ルール・資金部会第1回ワークショップが開かれました。テーマは「社会資源を考える」ということで、このテーマに関心のあるたくさんの大和市民の方と、地元事業者、市民活動団体の方にご参加いただきました。

ワークショップを始めるにあたり、進行役からこのワークショップの目的についての説明がありました。

今日は、「大和市の新しい公共を創造する市民活動推進条例」の中に出てくる「社会資源」という新しい概念を、もっとよく理解し、市民の中に広げてゆくことを目的としたワークショップです。全部で2回開催される予定のうちの第1回目にあたります。

今日のこの会が大和市で現在市民活動されている方と地元で縁のある事業者の方の新しい交流の場になればと願っています。



大和市協働ルール 資金部会 ワークショップの日程

2004年11月28日
第1回 「社会資源を考える」

市民と地元の事業者、市民団体などいろいろな立場の方に参加していただき、「社会資源」とは何か、という共通のキーワードを見つけるためのワークショップ（このニュースでお知らせしている会議）

2005年3月6日
第2回（予定）

参加いただいた事業者、市民活動団体の皆さん

- ・中央林間とうきゅう
- ・ブレイド
- ・まんまの自分
- ・点図サークルオーロラ
- ・カウンセリングコミュニケーションサポートセンター
- ・協働の拠点運営委員会
- ・二条通り商店街振興組合

「社会資源ガイドライン2004」中間報告 資金部会 宇津木朋子委員

「社会資源ガイドライン 2004」(別途添付資料)にしたがって、資金部会が社会資源ガイドラインを策定するまでの流れをご説明します。



社会資源ガイドラインとは大和市の「新しい公共を創造する市民活動推進条例」の前文に出てくる新しい概念、「社会資源」に関する方針と、基金・補助金の基本的なルールを示すものです。

今日この場でこれまで積み上げてきたガイドラインの中間報告をし、このワークショップの結果をふまえ、今年度の内容を追加し、ガイドラインを完成版としたいと思います。

市民活動に必要な社会資源とは、資金、情報、人材、場所、ノウハウ、機材などがあげられます。これらの社会資源を有効に活用し、市民活動が自立していくためのシステムをつくりたいと考えています。「わからないことは現場に聞け!」ということで今日は様々な立場の方の意見を伺うことを楽しみにしています。

市民活動推進補助金第1回公開選考会の結果報告 協働推進会議 渡辺精子委員

10月17日(日)に、第1回市民活動推進補助金公開選考会が開催されました。

補助金は市民活動を始めて間もない団体におくられる「めばえ」と、長く活動している団体におくられる「はぐくみ」の2種類があります。8つの団体が申請し、すべての団体が補助金を受けることができました。

今日はそのうち「点図サークルオーロラ」と「カウンセリングコミュニケーションサポートセンター」さんの2団体に参加していただいています。



参加いただいた事業者・市民活動団体の自己紹介

[中央林間とうきゅう 森嶋さん]

社会貢献ということで思い当たることは、まずリサイクルに取り組んでいることです。牛乳パック、ペットボトル、トレーの回収の他、物流センターでもリサイクルできるシステムになっています。商品でも牛乳パックを再生したトイレトペーパーを扱うなど、ものを大切にし、ゴミが出ないように

がけています。そのほかには地域のコミュニティバスに助成(資金協力)したり、自治会と交流しマイバック運動(ノーレジ袋)をすすめたりする活動をしています。また、地域の人との交流の一環として店頭でのステージを貸し出し、音楽活動に役立ててもらっています。

[(株)ブレイド 小野寺さん]

事業内容としては携帯プログラム、カーナビ、インターネットシステムなどのパソコンプログラムを製作しています。自分のような会社ができる社会貢献としては、知識を売る産業なのでそれを供給していききたい。現在は



「まんまの自分」さんにホームページをつくるノウハウを提供しています。このような活動の難しさは、営利目的の企業とは違い、

競争淘汰ではない形で資金を集め、何かを生み出さなければならない点にあります。今日ここに集まっている人は、本業以外の活動をすすめていくだけの力があるので、これをもし会社にしたらすごい利益を生み出せます。こうした人々と一緒に何かできれば私も嬉しいです。企業を動かしていくには活動をメジャーにして宣伝効果があればいい。この会も成果を出していけばきっと大きな企業も動かします。今日は活発な意見交換を期待しています。

[まんまの自分 岡島さん]

ありのままの自分を受け入れ、ともに学びながら成長していこうという「まんまの自分」です。ほっとする場であるとともに、子どもたちが自立できるよう活動支援しています。パソコンが好きな子どもが仕事に生かしたいということだったので、NPO法人かながわ就職支援研修センターに相談し、ブレイドさんを紹介していただきました。現在協働事業の一つとして11名の青年が研修を受けています。最終的な目標「かせげるようになりたい」という希望を成功させるには、どのように社会資源を活用していけるか。今もホームページの更新

などを一部請け負っていますが、まだまだかせげる段階ではありません。例えば市のホームページを請け負うなどの仕事を通し、自信がついたら企業へ就職するなど、通過点としての役割が果たせればと思います。また、ハンデがある方や外国籍の若者などさまざまな人に開かれた形で活動したい。そのためにもどうすればよいか、今日は皆様にお知恵を拝借したいと思います。



[点図サークルオーロラ 元木さん]

視覚障害の方のために点字プリンターなどを使って情報を提供する活動をしています。特に点字を使わない中途失明の方のために、エーテル(パ



ソコン)を使って活動の場を広げる情報を提供しています。点字プリンターは大変音が大きいいため、それを使用できる拠

点と、現在は2人で活動していますが、人ももっと募集したい。また利用者の情報を集めるのに苦労していて、現在は口コミに頼っています。主な活動として触る文字でつくったカレンダーなどをつくっていますが、今後は例えばカラオケの歌詞やアドレス帳、地図、公共の電話番号帳、折り紙の本、漢字の書き順の本などいろいろな分野のものを製作して活動を広げたいと考えています。



[カウンセリングコミュニケーションサポートセンター 高橋さん]

2004年2月にNPO法人になりました。現代社会のいじめ、虐待の問題などはコミュニケーションの不足に原因があると考え、カウンセリングのスキルを提供する活動をしています。子どもの心を育てることを目標に、教師、保育士などを中心に現在20名ほどのメンバーがいます。主な活動は、・コミュニケーション支援(カウンセリング講座)・子育て支援(子育て・心育て講座)・教育相談(学習会・ホームページ)の3点で、地域ぐるみの子育て・心育てを目標に2005年にはフォーラム開催をめざしています。社会資源に期待することは、やはり人的・物理的支援です。

現在困っていることとしては教育相談を受けたい、交流の場がほしいという声があっても、それに応えられる人材が足りない、拠点がなく、専門家と

のネットワークがないこと。また広く宣伝したいと思ってもホームページの更新がままならなかったり、資金が足りないなどの問題点もあります。資金面では今回大和市の「はぐくみ」の助成を受けられることによって少し改善しました。せっかく起こした活動を、今後どのように展開したらよいか、今日はそのノウハウを学びたいと思います。いろいろな専門家の持つ社会資源を取り入れることで自分たちの活動が発展し、そのことで社会が活性化し元気になれば、社会資源として還元できたことになるのではと考えています。



[協働の拠点運営委員会 小杉さん]

今日の会場を大和市民活動センターにできればよかったです。人数が入りきらず残念でした。大和市民活動センターとは社会資源の登録所だと



私は考えています。イメージとしては無数の引き出しのようなもので、そこへ行って引き出しを開くといろいろなものが詰まっている、そのよう

なセンターでありたいと思っています。ホームページでもそれは同じです。大和市民活動センターとは共育(ともいく)の場、何かを持ってくると何かを持って帰ることができる場でありたい。今日もとうきゅうさんのステージが使えるという情報などを聞くと、そこで何かできないかなと考えています。誰かがいる、何かがある、そういうセンターとして活動したいです。

[二条通り商店街振興組合 内田さん]

私は商業団体で「商業ではない事業」を担当しています。商店街は全国に1万6,000ほど存在しますが、アメリカなどと比較すると本来4,000位でも良いという説もあります。「まちづくり」に取り組まなければ商店街は無くなってしまおうと考えています。商店街が廃れていく理由は「地域コミュニティ」とのつながりが希薄になったことにあると考えています。昔は商店街というのは地域情報のターミナルでした。街の人達に「あの商店街が無ければ困る。」と思われる街づくりを目指しています。私たちは責任ある団体の活動として、10年前、事業系のゴミを自己責任で処理する事から始めました。そして、4年前からはプルトップを

回収し車椅子を購入して寄贈する活動をしています。もう一つ、地域の人との交流の場として商店街の開放に取り組んでいます。学童保育や自治会、消防団などいろいろな人との交流が生まれています。地域の人と顔を合せ手をつなぐ事の出来る商店街を目指す活動が認められ、神奈川県と大和市から表彰を受ける事が出来ました。今までの活動が地域の人達に評価していただけたと大変に嬉しく思っています。



4つのグループに分かれて社会資源の課題と可能性を考える

第1グループ「まんまの自分」

1. それぞれの立場から社会資源としてイメージするものは？

- ・ 商店街の空き店舗の利用
- ・ 空き店のスペース
- ・ 空き店舗賃料として商店街のPRホームページ作成
- ・ 商店街・まちづくりの情報発信としての役割も持つ
- ・ 飲み屋（ストレス解消とコミュニケーション）
- ・ 公の場所
- ・ 拠点となる場所
- ・ 難病者（移動困難者）高齢化による
種々のニーズの増加、団塊の世代の退転
- ・ 政府の助成（資金、パソコンの貸し出しなど、
スペースの提供）
- ・ 1. 人材（支援、技術など）2. 物資（場所、道具など）
3. 資金（活動資金、提供資金など）
- ・ パソコンの機器やCDの寄付またはレンタル
- ・ 資金として寄付、私債
- ・ 私債（仮称）の募集、上限あり、利息についても
限度あり
- ・ 資金の提供、ソフト購入のための支援金など
- ・ 社会資源（人、物、情報、金）
- ・ 資源を開拓・創生するためのプロセス・ノウハウ
これを有する人材
- ・ 人脈
- ・ 支援者と仲間
- ・ ボランティア、関わってくれる人々
- ・ 個人の持つノウハウ
- ・ 社会資源（知恵、工夫、熱意）
- ・ さまざまな能力の提供
- ・ 知識の提供（ホームページの製作技術を
教わっているので）
- ・ 市民に役に立つ情報
- ・ 公の提供しているサービス
- ・ 中小企業センターなど公共の場が提供する
弁護士などの無料相談
- ・ 情報（テーマについて）

2. 社会資源という言葉の理解しづらい点は？

- ・ どういう場面で使えるか
- ・ 「資源」を捉えるレベル
- ・ 社会資源 { 個の資源
 団体の資源

3. 社会資源の考え方を広げていく上で大切なことは？

- ・ 具体例（説明事例） ・ コーディネーター
- ・ 活用方法 ・ コーディネイト能力の提供
- ・ 受け皿 ・ マッチング
- ・ 社会的認知

[発表]

社会資源のイメージは、人、物、金、情報、ノウハウや技術、ホームページの提供、人脈（口コミ）仲間、ボランティア、お金、助成、レンタル、債券、拠点となる場所、商店街の空き店舗の利用などいろいろなイメージが出ました。言葉として理解しづらい点はないが、資源をどう捉えるか、どういう場で使えるかという認識が共有できるかが重要ではないかと思えます。

社会資源の考え方を広めるにはコーディネーターの役割が大切で、うまく活用されればそれが実績となりまた社会的認知を広げていくことにもつながるのではという意見になりました。



第2 グループ 「点図サークル オーロラ」

1. それぞれの立場から社会資源としてイメージするものは？

- ・ 点図はこれからますます必要とされる
- ・ 点図の存在が知られていない
- ・ 同じ志の人、利用したい人の結びつきがない
- ・ 存在と活動のPR
- ・ 活動のPR(七沢ライトセンターのみ)
- ・ ミニコミ誌 紹介できる
- ・ 講習会を開いたら？
(パソコンの使い方は根気があれば大丈夫)
- ・ 民間で知らせる仕組みをつくれないか
- ・ スーパーの店内図をつくり持ち込む
- ・ 市役所の電話番号、庁内図をつくり持ち込む

2. 社会資源という言葉の理解しづらい点は？

- ・ メンバー拡大したい
- ・ メンバー5名以上にしたい
- ・ ボランティアセンターに登録
(5名以上になればできる)
- ・ プリンターをおく場所がない
- ・ 求む場所・人材の提供
- ・ 家賃は払えない
- ・ 労賃も払えない

3. 社会資源の考え方を広げていく上で大切なことは？

- ・ 利用者を把握できない
- ・ 録音奉仕団体と連携できないか
- ・ 広告を入れて資金(紙代)調達
- ・ 紙代も必要
- ・ 点図サークルオーロラ自立プロジェクトをつくろう

[発表]

このグループでは1.2.3の設問にこだわらず、点図サークルオーロラの活動を活性化するためには社会資源をどう活用したらいいか、という観点で話し合いを進めました。そのためにはまず、点図とはどんなものかを広く知らせる必要があります。同じ志を持つ人、利用したいたくさんの人とオーロラを結びつけるために、存在と活動をもっとPRしていくべきです。利用したい人を行政などの登録から探すことは、個人情報に関わることなのでむずかしい。広く知らせることで必要としている人とコンタクトをとればと思います。そのためにミニコミ誌に載せボランティアも募集する、サンプルを店舗や市役所に置かせてもらう、講習会を開くなどの案が考えられます。

将来活動を広げるには拠点となる場所が必要ですが、現在2名で活動しているのでメンバーが5名以上にならないとボランティアセンターで場所が借りられないというのが実情です。家賃・労賃を獲得するためには現在製作している点図カレンダーに広告を載せるなどのアイデアも出ました。結果的には点図サークルオーロラを応援するプロジェクトのようなものを立ち上げるのがよいのでは、ということになりました。

[意見]

点図を利用したい人の情報が行政にあるのなら、必要としている人に必要な情報が届くよう、行政側が努力をすべきである。行政がプライバシーを独占しているのでは、情報を持っている意味がない。



第3 グループ 「カウンセリングコミュニケーションサポートセンター」

1. それぞれの立場から社会資源としてイメージするものは？

- ・ 東急ストアのステージ（音楽中心）は社会資源でしょうか？
- ・ "地域の茶の間" という活動は個人の家の一室を開放して活動拠点になっています。
- ・ 物理的資源（活動場所、資金、機材）
- ・ 人的資源（専門的スキル、ボランティアの担い手、支えてくれる人）
- ・ 情動的資源（ネットワーク、地域の情報の流れ）
- ・ 人の得意なこと、能力
- ・ 人の能力を発見する機会・場が大切
- ・ 人生の熟年期（定年）の知恵・経験の社会への生かし方
- ・ 教育が資源をつくる
- ・ 「段取り塾」をつくらう！
- ・ いろんな人との関わり合いが体験になる体験の場
- ・ 人を育てるのはその時に具体的に
- ・ 自分を表現できると人が社会に開く

2. 社会資源という言葉の理解しづらい点は？

- ・ その人の生きる場所をつくる
- ・ ボランティアも社会資源。同じ目線
- ・ 発掘することに意味がある
- ・ 上下関係の「教えてあげる！」態度はちょっと？
- ・ この言葉を聞いただけでおねだり状態になってしまう、自分は違うと思ってしまう
- ・ すべてお互いに「開かれている」と社会資源
- ・ 個人が何をできるかが（社会）資源
- ・ ひとりひとりに意味がある

3. 社会資源の考え方を広げていく上で大切なことは？

- ・ 市民活動センター団体のフォロー情報
- ・ 市民活動センターに登録してほしい
- ・ 大和市民のホームページを作ったらどうか 市民センター
- ・ 社会資源マップを作ったらどうか「ニーズとギブ」 テーマごとに資源の流通図をつくる

[発表]

社会資源というと物理的資源、人的資源、情報をイメージしますが、それを使う人と場をコーディネートする人が重要になると感じました。自分の関わっている市民活動センターも、そうした情報を集め提供できるようにしたい。現代は情報社会ですので、ホームページを活用するのも一案です。



第4グループ「協働の拠点の運営委員会」

1. それぞれの立場から社会資源としてイメージするものは？

- ・ 人財
- ・ 知識
- ・ 経験を生かす、ひらく
- ・ 人脈
- ・ つかむ、つなげる
- ・ もの 場の提供
- ・ 金

2. 社会資源という言葉の理解しづらい点は？

- ・ 耳にしない、使われていない

3. 社会資源の考え方を広げていく上で大切なことは？

- ・ 「新しい公共」をすすめるツール
- ・ ネットワークコーディネイト
- ・ コミュニケーション
- ・ コラボレーション
- ・ だれでも参加できる

[発表]

「社会資源とは」ということを話し合うだけで時間になってしまいました。あまり耳にしないこの言葉をもっと広げていくには、新しい公共をすすめるツールとして使うのがよいのでは？イメージとしては社会のネットワーク、地域のコミュニケーションなどの言葉

が出ましたが、何よりも話し合うことが大切である。小さくまとまらずよりよい大和市をつくるために、このような市民が参加できる活動がどんどん出てくるのがよいと思いました。



今日の感想(参加いただいた事業者・市民活動団体)

小野寺さん(ブレイド)

今日は客観的にいろいろ聞くことができました。こういう場に参加できたことが第一歩であり、今後何をしていくかを発見する場でもあり、あっという間でした。みなさんのパワーを感じ、これならうまくいくのではと思いました。

元木さん(点図サークルオーロラ)

今までは2人きりで職人的に活動してきましたが、今日はみなさんからいろいろな知恵をいただき、一歩踏み出して活動するのを感じました。具体的に参考になりました。

宇津木さん(資金部会)

今日は社会資源というテーマで本当にたくさんの方に集まってくれました。大和市に協働の精神が根付いてきたと実感しました。今日の意見を資金部会ガイドラインに生かしていきたいと思っています。

岡島さん(まんなの自分)

かせがない市民運動は簡単です。かせぐためにはどうすればよいかについて今日はいろいろな人のアドバイスを受けられました。いろいろな人と手をつなぐ意味を感じました。社会資源という言葉は「使われてナンボ」だと思います。

小杉さん(協働の拠点運営委員会)

今日ここで「引き出しのかたち」をどうすればいいか、そのヒントを得たように思います。各団体の課題や悩みを聞いて市民活動センターの役割も見えてきました。お互い情報を持ち寄ることでネットワークが結ばれ、新しくちがう引き出しができてくる。みなさん、まずセンターに登録してください。大和市でいろいろなことが動いている手応えを感じました。

高橋さん(カウンセリングコミュニケーションサポートセンター)

社会資源とは今まで、こちらのニーズを要求する、いわばおねだり的なイメージを持っていましたが、今日ここにきて資源とは発掘し育てるものであると感じました。私たち一人ひとりが資源になれるよう、苦勞して自分を磨いていかなばならないと思っています。

今日の感想 (感想カード)

小杉会長の発言通り、こういった会を活動センターで年間数回実施し、より多くの情報、活動団体のご意向を集約していきたい。

社会資源というのは形あるものだけではないということ。それを理解するためには、いったん個人に引き寄せて考えてみなくてはならないと感じました。大きく捉えることはできても、一個人としてはどうなのか、という点。それぞれが考えるチカラ、動くチカラを持たなくては、大きな流れは作れないなと思います。

市民の意見が形として、行政の窓口が開いたということは、とてもよいことだと思います。今日はありがとうございます。皆様の話を聞けてとてもよかったです。

今日はよい機会を与えていただきいろいろ学ばせていただきました。皆さんの真剣な話に啓発を受けました。今日の集まりこそが社会資源だと感じました。

集まり、ニーズや資源になるものを出し合う場をつくるのが大切だと思いました。そういう中から新たなつながりや展開が生まれる。これからが楽しみです。

今まで自分にとって「市民団体」「NPO法人」などは全く縁のない世界でどういった活動をしているかは無論存じませんでした。しかし本日この会に出席し、各団体やボランティアのこと、またどういったことに問題を抱えているのかなど詳細に知ることができ、一社会人として改めて考えさせられることが多く発見、勉強することができました。大変有意義な時間を過ごしたと思います。

点図サークルオーロラさんの活動は協働事業になると思います。オーロラさん活性化プロジェクトをスタートしたいですね。

本日は良い話をたくさん聞けて良かったです。自分で立ち上げたことに関して相談できたらと思いましたが、それ以上の話が聞けたかとも思います。

崇高で意味のある大プロジェクトだと思います。また機会があれば討論の場に参加したいと思います。

最後の全体の意見交換で出てきた目にハンディを持った方のリストについて（本当は皆の前で議論したかったけれど時間が無く...）、果たしてそうしたリスト化が根本的に可能か（住所等と体の状態の情報の結合）、もう少し慎重に考える必要があると思います（単純な行政批判では済まないことを検討してほしい...）

市民活動センターの運営のポイントはコーディネーター機能をいかに発揮するかにあると考え、これから精力的に取り組んでいきたい。

「まんまの自分」「点図サークルオーロラ」両会の活動のPRの場として、患者会の広報誌を活用できるのではないかと。全国「全腎協」12万部、奇数月県「神奈川じんゆう」5000部、偶数月市「大和じんゆう」400部、年4回

初めての参加でしたが、社会資源についての討議で大変勉強となりました。今後日々の生活に少しでも役に立っていかれるよう努力します。

「社会資源」...意味は大体理解できたので次は大和市民のニーズを掘り起こし、それをコーディネートすることが大切。課題...人、物、金が必ず問題となり、それを一つずつクリアすること、またこの活動が社会に役立っていることを自覚することだ。

大和市の将来、日本の将来のためにも社会資源を考える必要があると思います。今回事業者の立場で参加させていただきましたが、次もぜひ呼んでいただければと思います。ありがとうございます。(ブレイド)

「社会資源」というものに対してイメージがわきました。私自身もワード・エクセル程度でしたら教えられますし、すでにいろいろな「社会資源」が存在しているように感じました。後は、それらを必要なところでどうやって結びつけていくか、ということだと思います。またこのような場で、活動について相談し、アドバイスを受けることは非常に有効であると感じました。

活動センターのメンバーが大勢でしたので「点図サークルオーロラ」に参加しました。活発ないろいろの意見で参考になりました。回を重ねて例えば他の実例からの勉強ができればと思います。(基金集め、人材の確保など今日の"資源"について)

「社会資源」という言葉に初めて触れた。いささかわかりにくいようで、その点留意が必要か。でもかかる資源について、皆でディスカスできたことは今後の活動展開に有意義であった。

協働の拠点運営委員になってから日も浅く、いろいろの面で経験不足です。今日は皆様と交流ができ、それぞれの立派な考え方を持って市民活動をされていることがわかりました。できるだけ前向きに、市民として公共の発展のため機会がありましたら自分の知識、経験を活用していきます。

2回目の参加です。テーマは難しいですが、具体的な活動の中でいろいろ意見を出せてよかった。点図サークルの発展を祈ります。

市の行政が行っていることはどんなことか、どんなグループが立ち上がったか知りたかったので、大変よかったです。また、具体的に何かを立ち上げるとき、どのような知恵を出し合えたらよいか話できてよかったです。

社会資源として生きるためには、やはり資金面でも技術面でも、場所・ものでもコーディネートできる人間と顔の見えるネットがないと成り立たないと実感しました。

協働事業についての会が何回か続いているが今後の予定はどうなっていますか？日曜日に来るので予定がわかっていると助かります。先日の公開選考会でのやりとりがまとめてあり嬉しかったです。

「社会資源」。だんだん時を経るにしたがって、内容が豊かに中身濃くなっていくような思いがします。こうして社会資源というテーマで、今日たくさんの方が集まったという大きな価値を共有したい。

社会資源をなかなかイメージができなかったのですが、私達点図サークルのためにいろいろな有効なアドバイスをいただき、自分達自身も社会資源の一つとしてアピールしていきたいという意欲が湧いてきました。